

「寒川町都市マスタープラン」見直しに向けた町民意識調査 結果概要

1. 調査目的

都市計画マスタープランの改訂にあたり、市民の意向を把握し、計画に反映するため。

2. 調査概要

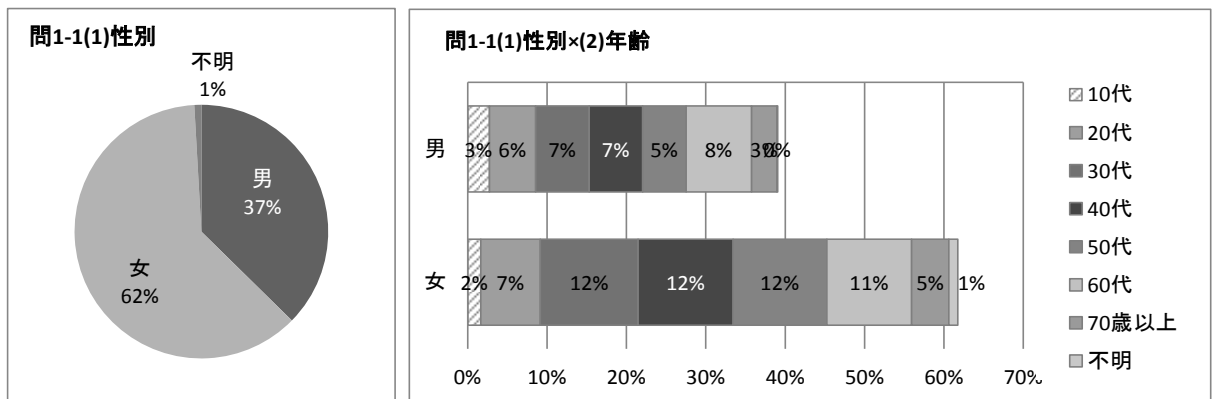
- (1) 調査地域 寒川町全域
- (2) 調査対象 寒川町在住の満18歳以上の男女個人（平成28年1月1日現在）
- (3) 配布数 2000
- (4) 配布対象者の抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布－郵送回収
- (6) 調査期間 平成28年2月16日～3月7日
- (7) 回収結果 787件（回収率39.4%）

3. 回答集計結果

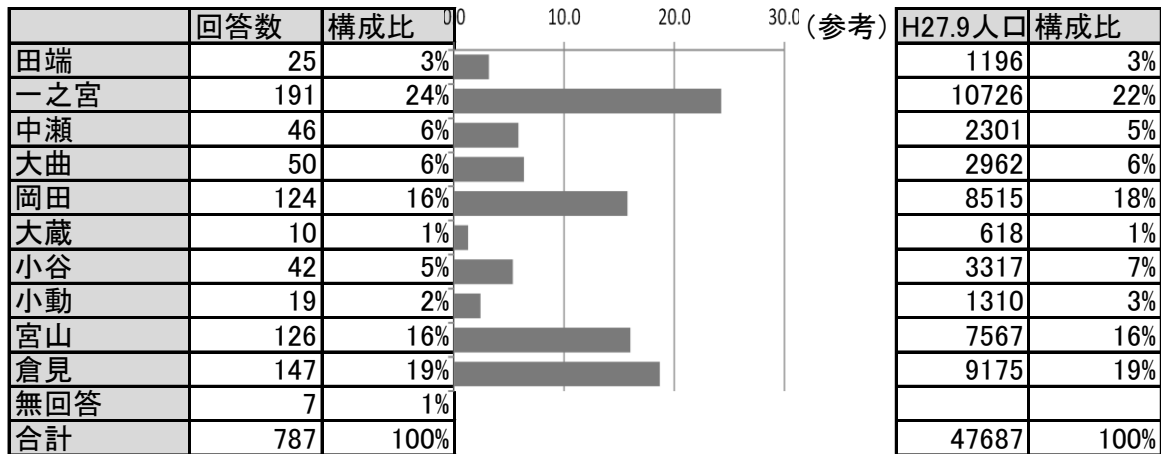
1) 回答者属性

《性別・年代》：やや女性が多い回答状況／各年代はバランスが取れた回答状況

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	計
男	8	46	53	53	43	65	25	1	294
女	13	59	97	94	93	84	37	9	486
不明								7	7
計	21	105	150	147	136	149	62	17	787

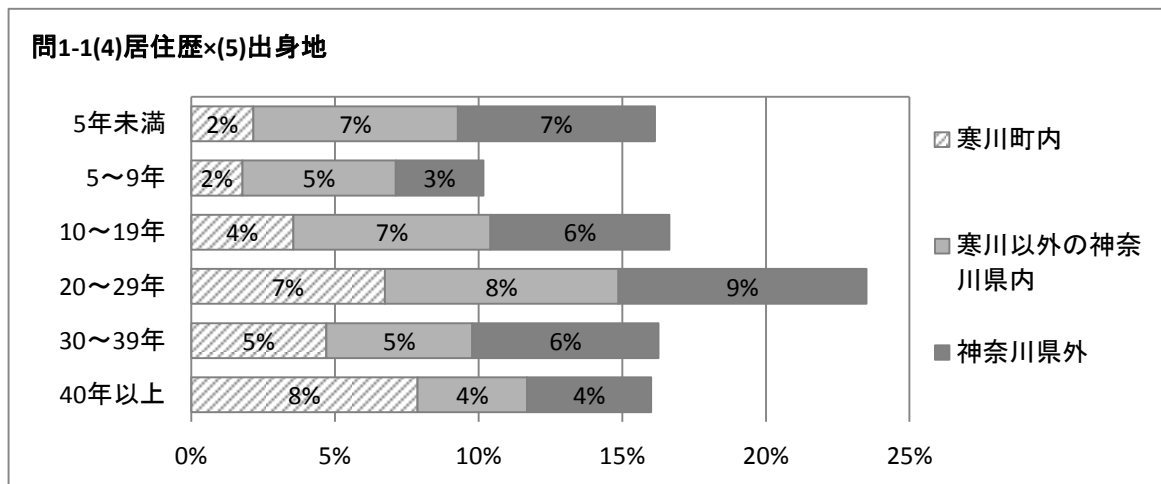


《住所》：実際の人口（H27.9 現在）とほぼ同じ割合の回答状況

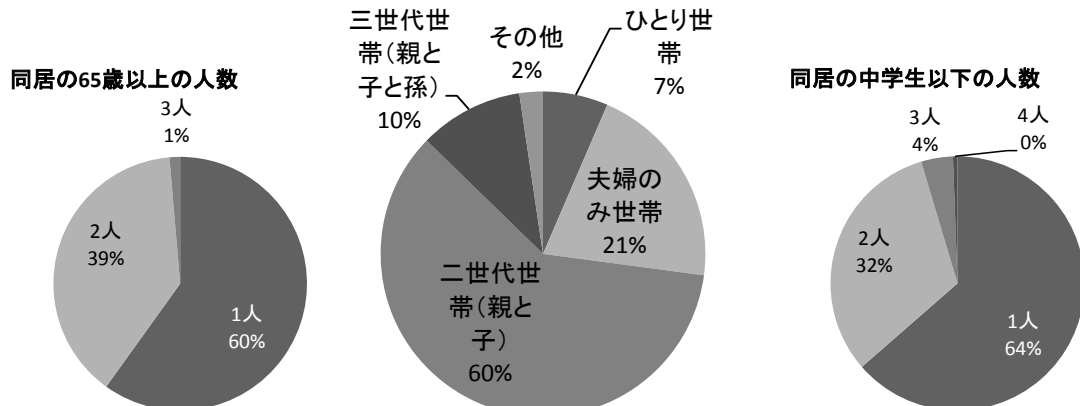


《居住歴・出身地》：居住歴・出身地ともバランスよく回答された

	寒川町内	寒川以外の神奈川県内	神奈川県外	不明/無効	合計
5年未満	17	56	54	1	128
5～9年	14	42	24		80
10～19年	28	54	49		131
20～29年	53	64	68	1	186
30～39年	37	40	51		128
40年以上	62	30	34	1	127
無回答				7	7
合計	211	286	280	10	787



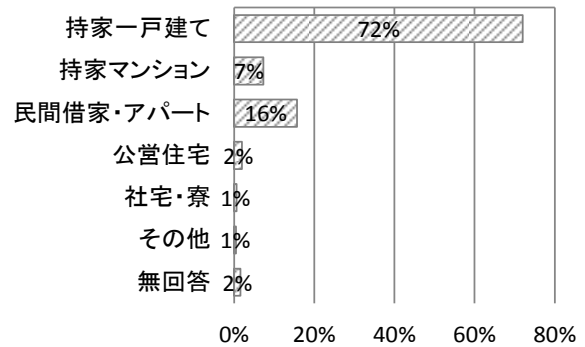
《家族構成》：二世帯世帯が半数を占める。子ども高齢者とも家族内の人数は少ない。



《住まいの形態》：持ち家戸建てが7割を占める

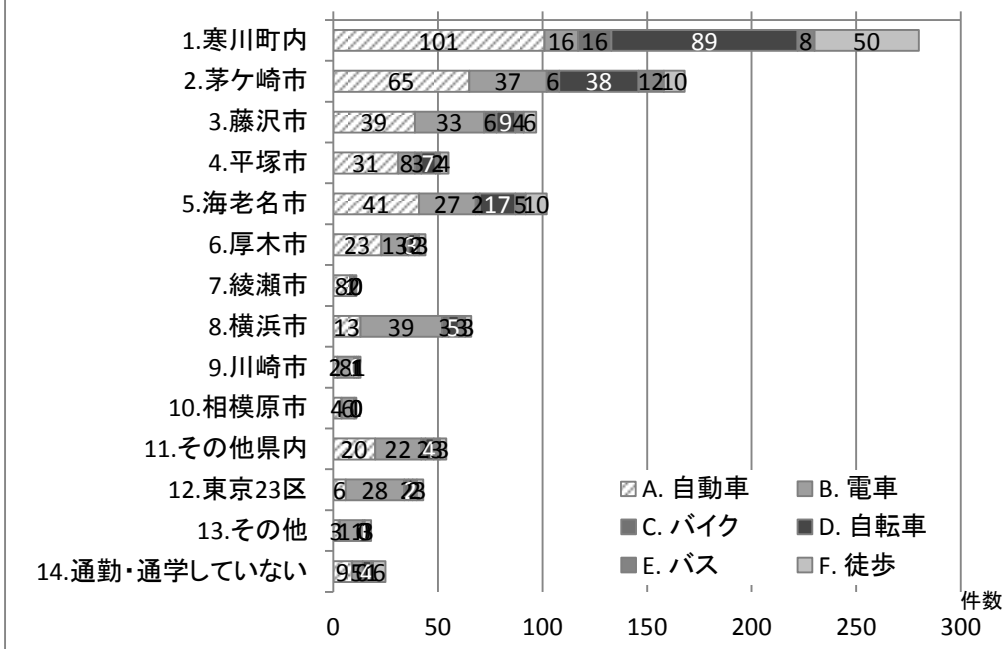
	回答数	構成比
持家一戸建て	567	72%
持家マンション	58	7%
民間借家・アパート	124	16%
公営住宅	16	2%
社宅・寮	5	1%
その他	4	1%
無回答	13	2%
合計	787	100%

問1-1(6)住まいの形態

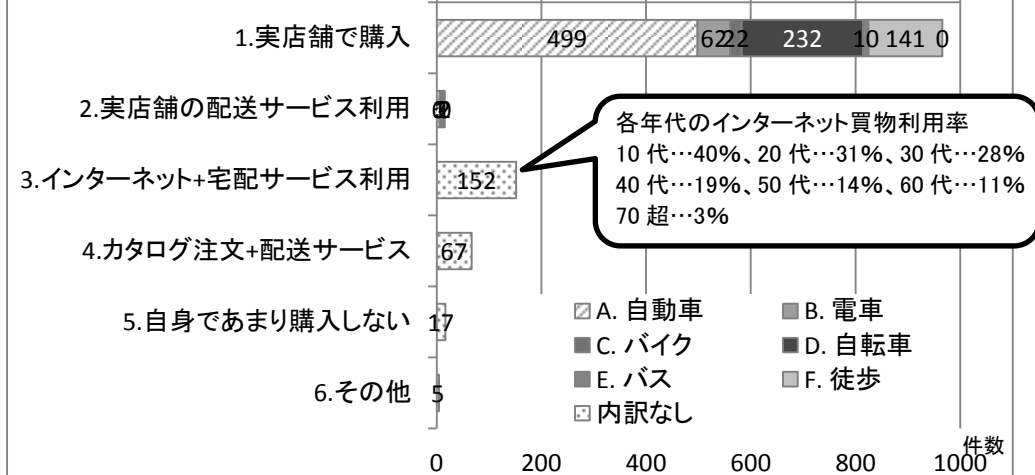


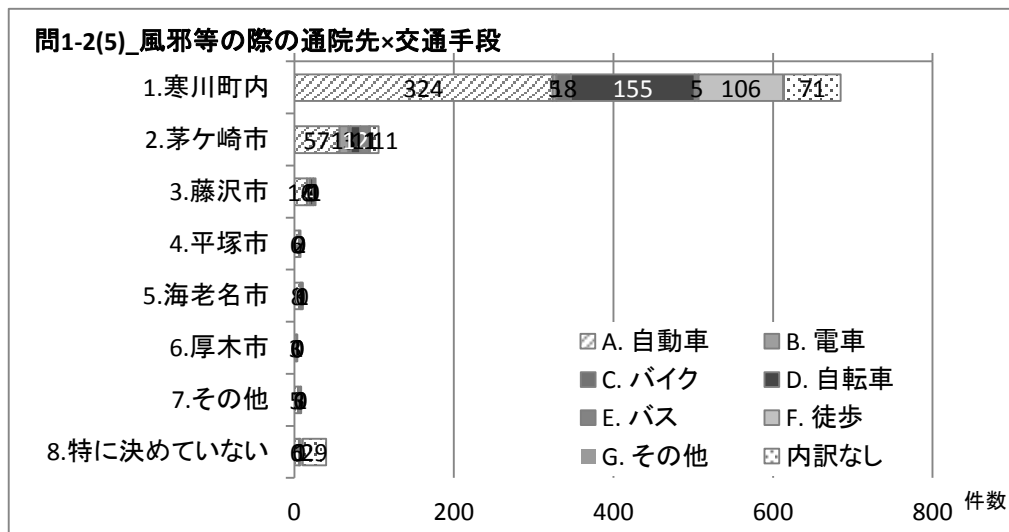
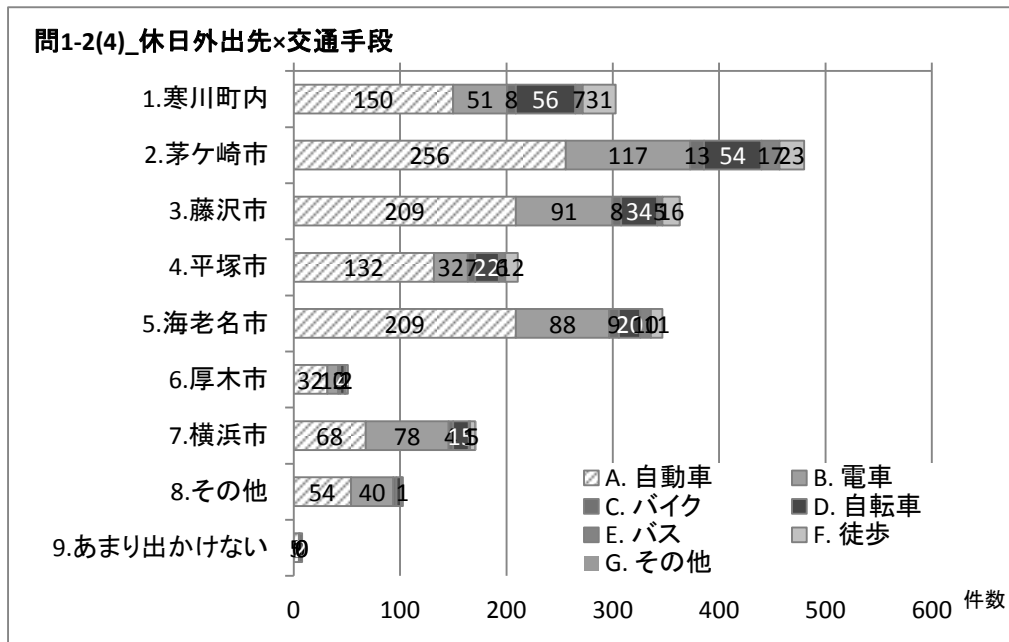
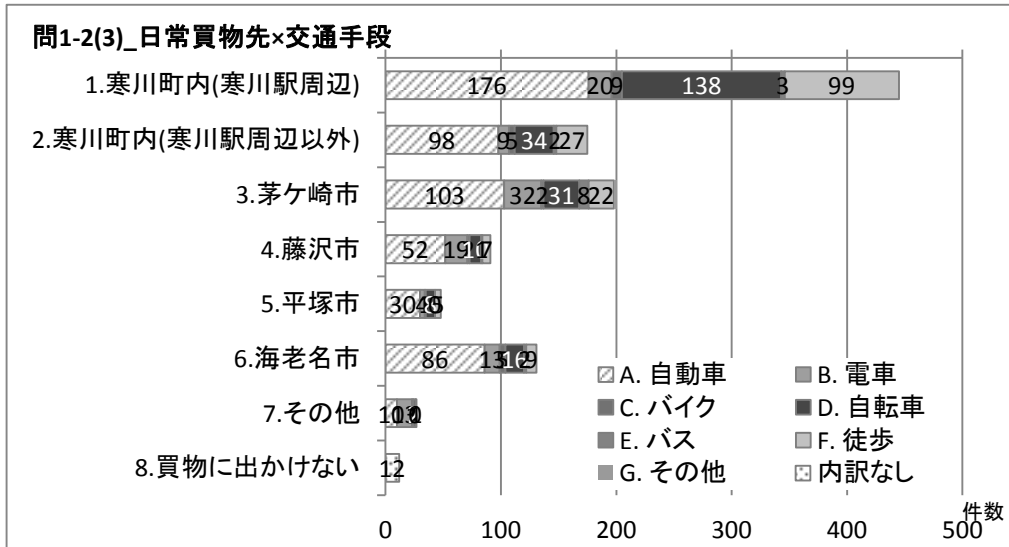
2) 寒川居住者の日常的な行動傾向と寒川町の住みやすさ評価 (ライフスタイル)

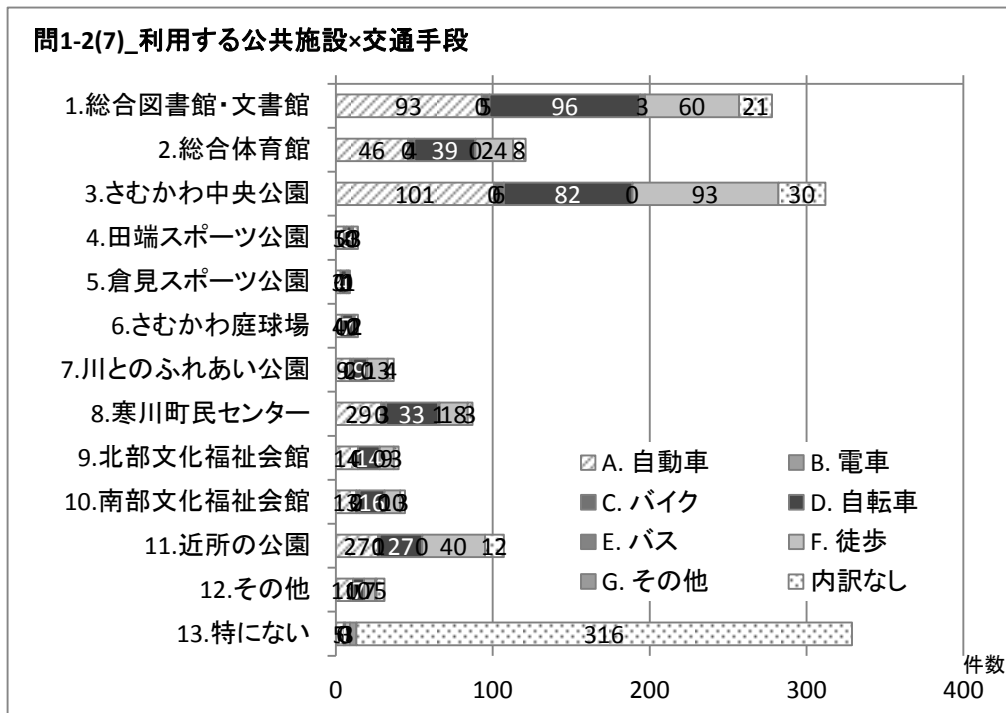
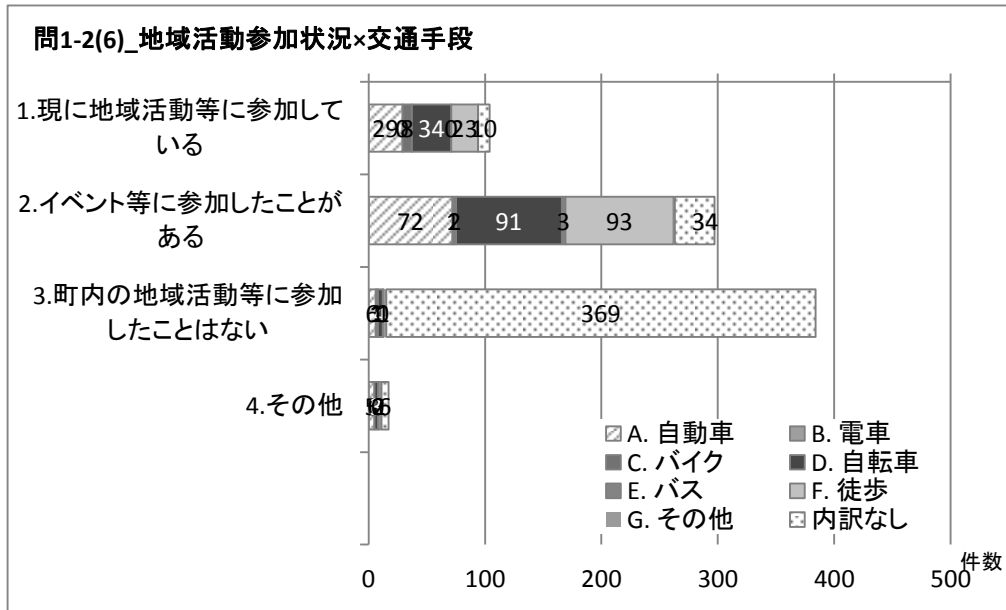
問1-2(1)_通勤通学先×交通手段



問1-2(2)_日常の買物購入×交通手段(1.2のみ)





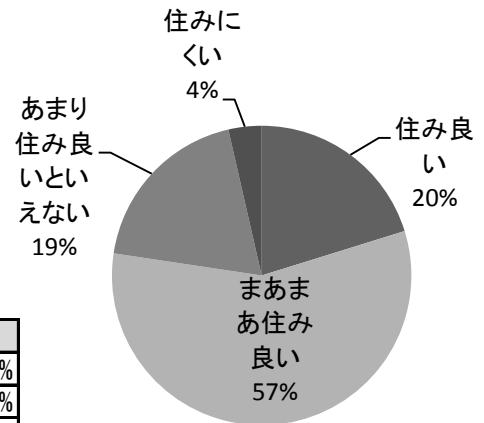


- ・ 日常的な生活圏域は寒川町内が多いものの茅ヶ崎市や海老名市などとの関連が深い。
- ・ 休日の行動範囲は複数方面に広く行動する人が多い。
- ・ 交通手段は自動車利用が中心で町内の移動には徒歩や自転車の利用も見られる。バス利用が少ない。
- ・ 若年層を中心に日常的な買物にインターネットを活用する層が一定程度みられる。
- ・ 風邪等の身近な通院は寒川町内が多い。
- ・ 町の公共施設や地域活動に関わりを持たない層が約4割を占める。

寒川町の住み良さ評価

	回答数	構成比
住み良い	158	20%
まあまあ住み良い	447	57%
あまり住み良いといえない	149	19%
住みにくい	28	4%
無回答	2	0%
不明回答	3	0%
合計	787	100%

問1-3 寒川町の住み良さ



(住み良い理由)

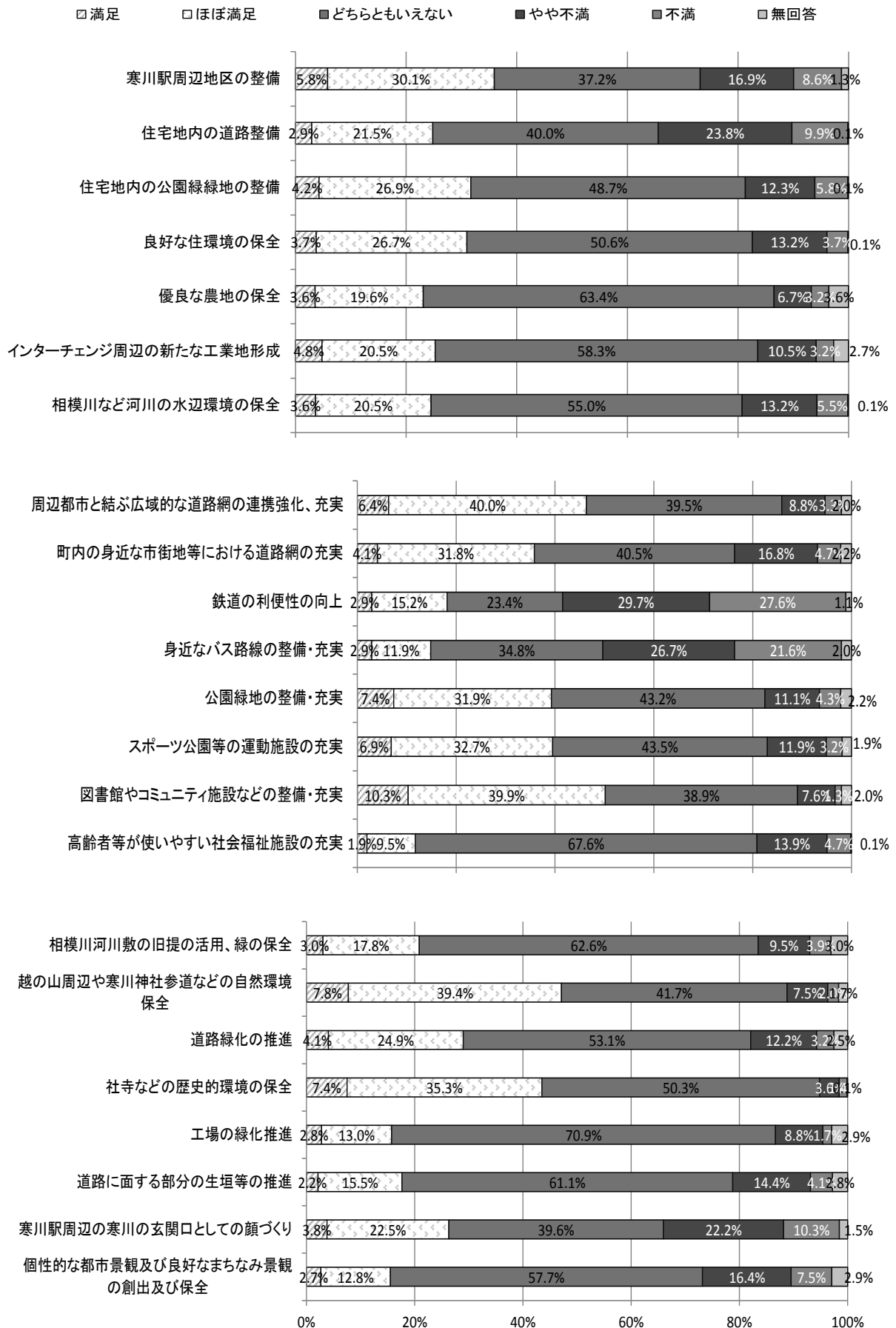
住み良い・まあ住み良い理由	回答数	割合
自然環境が良い	267	44%
長年住み慣れて愛着がある	242	40%
買物が便利	106	18%
親などの親族が近くにいる	95	16%
近隣の間人間関係が良好	74	12%
通勤通学が便利	64	11%
交通の便が良い	62	10%
特に理由はない	61	10%
街の雰囲気が良い	49	8%
公共施設が使いやすい	25	4%
歴史文化を感じる	16	3%
回答数	605	

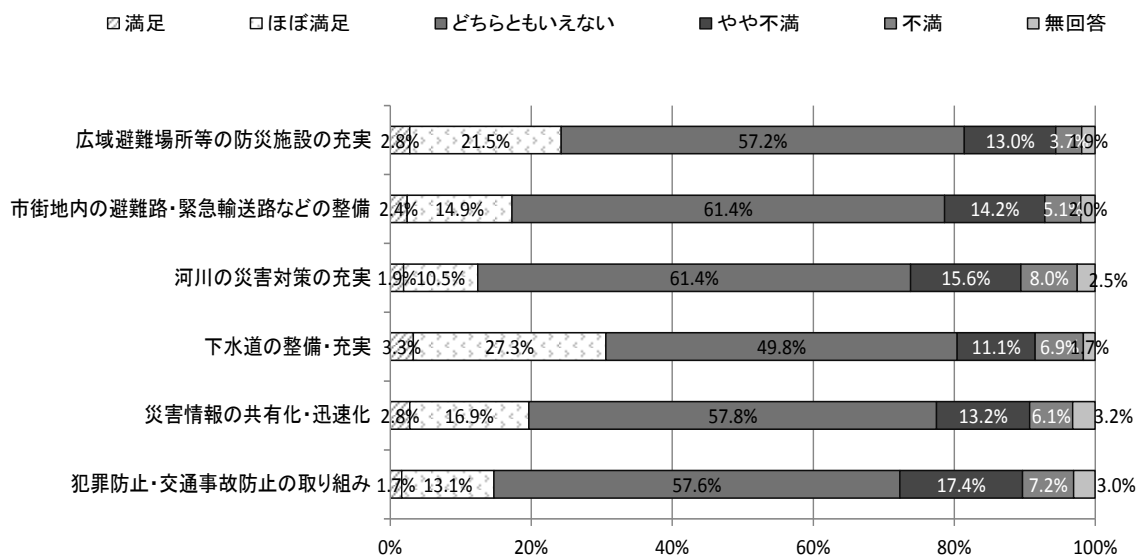
(住みにくい理由)

住み良くない・住みにくい理由	回答数	割合
交通が不便	138	78%
買物が不便	89	50%
通勤通学が不便	52	29%
公共施設整備が不十分	24	14%
街の雰囲気が好きでない	21	12%
子育ての環境がよくない	14	8%
愛着が持てない	10	6%
近隣の間人間関係がよくない	7	4%
特に理由はない	6	3%
親などの親族が遠い	4	2%
回答数	177	

- ・住みにくい理由としては交通不便が約8割を占める。
- ・買物が便利／買物が不便 は住み良い・住みにくいの双方でポイントが高い。

3) これまでの寒川町のまちづくりの取り組み評価（問2 関連）

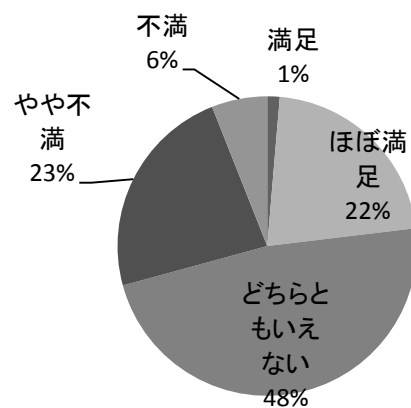




(これまでのまちづくりの取り組み満足度)

	回答数	構成比
満足	10	1%
ほぼ満足	163	21%
どちらともいえない	357	45%
やや不満	174	22%
不満	45	6%
無回答	37	5%
不明回答	1	0%
合計	787	

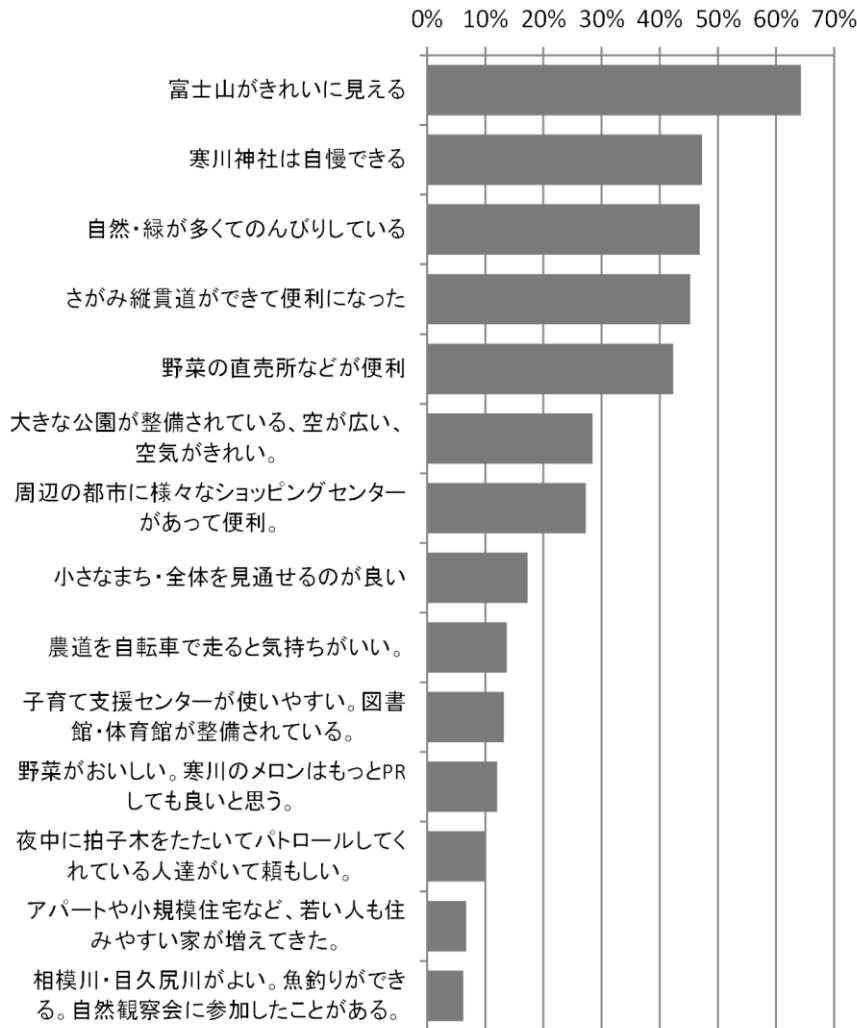
問2-2 これまでの取り組み満足度



- ・全体的に「どちらともいえない」が多い。総合評価でも半数を占める。
- ・広域道路網、公園、公共施設、自然環境保全などの項目はやや満足度が高いが、交通問題では不満が大きくなっている。
- ・安全面では河川の災害対策の満足度が低い。
- ・総合的な満足度では「満足」が少ない。

4) 寒川町の魅力とまちづくりの課題・報告性について（問3 関連）

（寒川町の魅力投票）

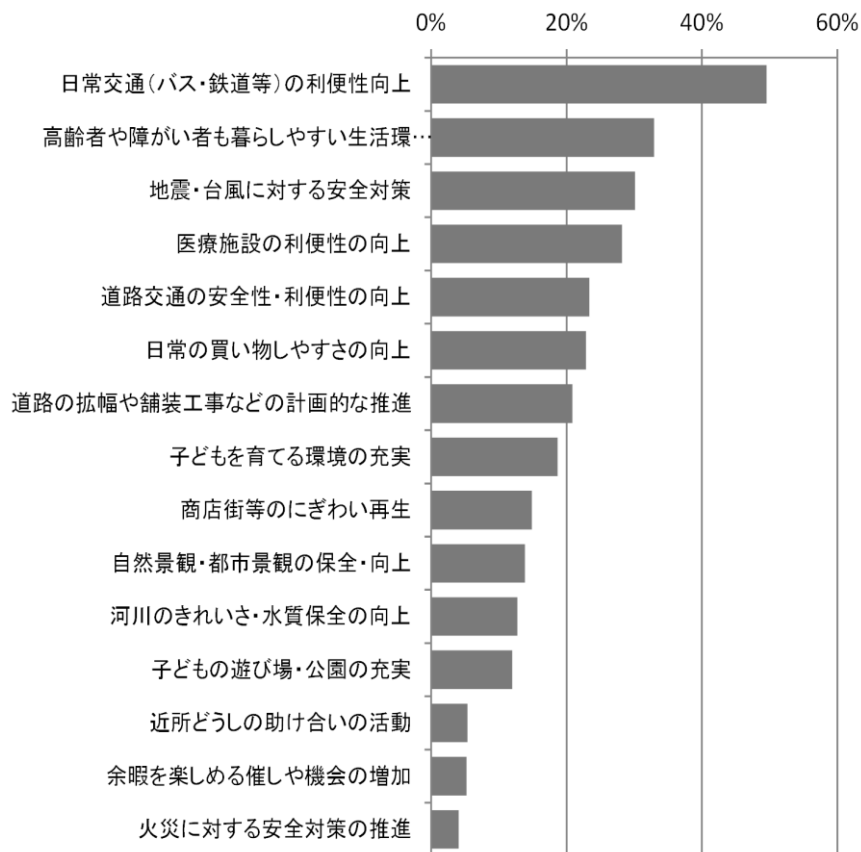


- ・富士山を臨む遠景景観の評価が高い。これは、市街地と市街化調整区域が隣接しており、広域の景観が身近に感じやすい寒川町の特徴を示している。
- ・歴史、自然資源と併せて相模縦貫道や野菜の直売所などの評価も高い。
- ・買い物に便利との指摘もある

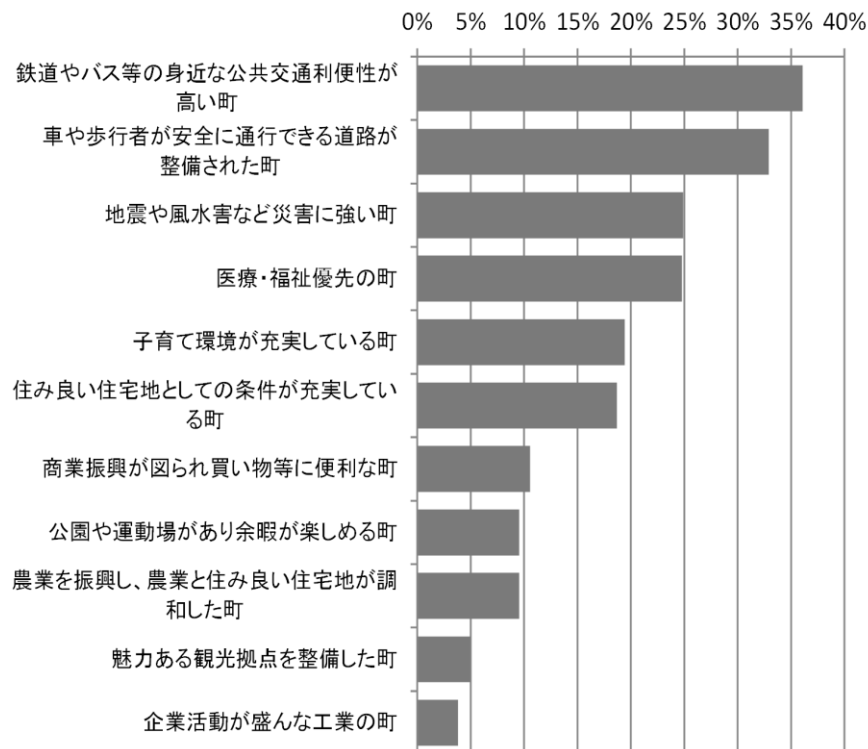
まちづくりの課題・今後の方向性としては…

- ・交通・道路整備等への対応及び防災面での強化、高齢化に対応したまちづくりなどが求められている。

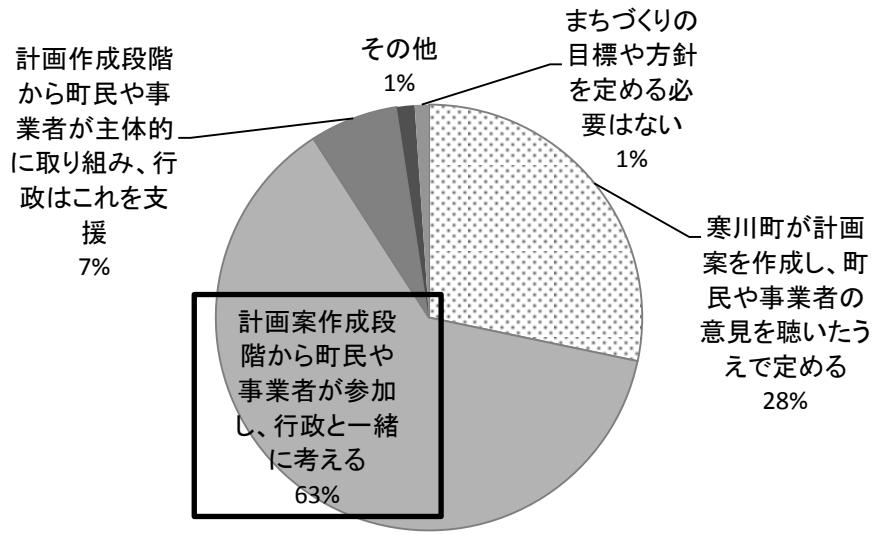
(まちづくりの課題)



(まちづくりの優先施策)



5) まちづくりへの参加について（問4関連）



話を聞くイベント	3.7	10.0	17.2	38.0	24.0	7.1
ルールづくりなど	3.2	9.0	25.4	33.2	22.0	7.2
花植えや美化運動行事	6.7	11.8	22.4	36.0	17.4	5.7

- ☑ 積極的に参加したいと思う。
- ☐ 回数や期間限定ならば参加できるかもしれない
- 参加を依頼されたら参加するようになると思う
- たまたま時間が合えば参加するかもしれない
- 時間があつたとしても、参加しないだろうと思う

- ・都市計画マスタープランの見直しに際しては「町民や事業者が行政とともに考える」スタイルへの賛同が最も多い。
- ・具体的な参加行動については、「時間が合えば参加するまで」を含めると、回答者の7割に参加の可能性がある。